

公告 昭 36.5.2 出願 昭 33.12.26 実願 昭 33-68482

考 案 者 鈴 木 幸 三 郎 東京都板橋区大山町1
出 願 人 旭 光 学 工 業 株 式 会 社 東京都板橋区志村前野町980
代理人 弁 理 士 浜 野 金 三 郎 (全 2 頁)

天体望遠鏡の旋回角度微動装置

図面の略解

図面は本実用新案を示すもので第1図は右側の一部縦断側面図、第2図は水平微動部の横断平面図を示す。

実用新案の説明

従来の望遠鏡旋回角度微動装置が水平運動においてはクランプ用螺子を締めて水平ギヤを固定しているため微動を行うには目的物により方向転換するにはクランプ螺子を緩めて後行わなければならないので夜間等にあつてはクランプ螺子を手探りしなければならぬ極めて不便であつた、本実用新案はこれを改良して水平運動を片手一作動にて行い得るようにして今までの不便を完全に排除したものである。

本実用新案は図面について説明すると図中1は鏡筒取付ベース2は仰角微動用扇形ウオームギヤ3は枢軸4は仰角微動可撓軸、5は仰角作動用ウオーム、6はウオーム支持メタル、7は転位メタル、8は転位ハンドル、9は托架、10は水平微動用ウオームギヤ、11はその取付ビス、12は架台、13は水平ウオーム、14は水平ウオームメタル、15は転位メタル、16は水平微動軸、を示すもので鏡筒取付ベース1を托架9の上部挾持溝9'内に枢軸3により挿入支持し、仰角微動用の扇形ウオームギヤ2を固設した枢軸3にて軸架する、扇形ウオームギヤ2に嚙合するウオーム5を刻設した仰角微動用可撓軸4を仰角ウオーム支持用メタル6にて支持し可撓軸4の頭部には転位ハンドル8を装着して転位メタル7にて支持する転位メタル7は転位ハンドル8により上下自在に転位してウオーム5とウオームギヤ2との係脱を迅速に行い得られるものである。

托架9の下部には膨出空室9''を形成し水平微動用ウオームギヤ10を固設内装した架台12の中心に托架9の軸9'''を嵌挿して定着して定着し、水平微動用のウオームギヤ10には水平ウオームメ

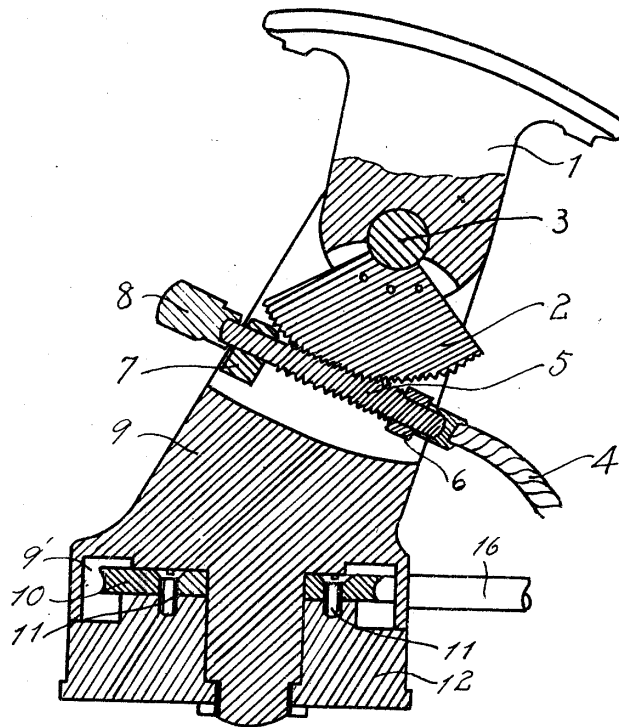
タル14に軸支したウオーム13を転位メタル15により係脱自在に臨設するもので、膨出空室9'には密孔15を設け転位メタル15を膨出空室9'内に挾着してウオーム13の水平微動軸16の変位によりウオームとウオームギヤとを係脱自在に構成されている。

本実用新案は上記のように構成されているので仰角微動可撓軸4を廻転するとウオーム5と扇形ウオームギヤ2の嚙合により鏡筒取付ベース1を俯仰自在の角度に傾動させ天体望遠鏡の仰角度を極めて微少な角度宛微動させることが出来るし又水平微動軸16を廻転すると軸上のウオーム13と嚙合する水平微動用ウオームギヤ10は僅かずつ水平に廻動して天体望遠鏡を水平方向に微動することが出来る、而して転位メタル、又は15をハンドル8又は軸16により偏倚させてウオームとウオームギヤの係合を離脱させれば、鏡筒取付ベース1及托架9は何等の制限もなく急速に廻動するので、本実用新案によれば望遠鏡の水平方向の旋回及俯仰角高度の調整は微動より急旋回に到るまで片手操作によりハンドル8に上下切換によるウオームとウオームギヤの着脱が出来微動と急旋回を即時に変換し得ると共に可撓軸4の廻動により下方20°位より天頂までどの位置までも微動を行い得る実用上有効便利なものを提供するものである。

登録請求の範囲

図面に示すように鏡筒取付ベース1を托架9の挾持溝9'内の枢軸3にて枢止し扇形ウオームギヤ2を固設し、ウオーム5を有する可撓軸4の先端の転位ハンドル8により操作してウオーム5とウオームギヤ2とを係脱自在に設置し托架9の底部に膨出空室9'を設けて水平ウオームギヤ10とこれと嚙合するウオーム13を装設した水平微動軸16を係脱自在に軸支して成る天体望遠鏡の旋回角度微動装置の構造。

第1図



第2図

